

きらめき

北斗市立大野中学校
研 究 部
第 1 0 号
2018.12.19

「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり

～資質・能力の「三つの柱」の育成を目指して～

【めあて】研究授業を振り返り、明日からの授業に活かそう。

12月校内研修内容

- 授業を振り返って
 - ・指導案作成について
 - ・授業を終えて
- 事後研修
 - ・付箋にまとめる
 - ・グループごとに発表
- 研修のまとめに向けて
- 学校長より

- 板書に「学習課題」・「まとめ」を活用している。 ●12月の振り返り
- 学習の約束について指導している。
- 家庭学習の方法について具体的に指導している。
- グループやペアでの活動形態を取り入れている。
- 役割や責任を生徒に意識させたペアやグループ活動を行っている。
- ピアサポートやクラス会議など関わり合う場を意図的に作っている。
- ICT機器を効果的に活用している。

<2A高橋 T～英語で詩をつくる～>

<ICTの効果的な活用>

- 見通しをもって子どもたちが活用していた。
- 意欲的に操作し、取り組んでいた。
- 班の中だけではなく、全員に見せてもよい。テレビを使っての発表は見やすかった。

<1C佐藤 T～ストレスについて～>

<課題解決に向けて>

- 身近な題材で、話し合い活動も活発に行われていた。雰囲気が良い。
- デジタルとアナログと使い分けている。自作の絵がとても面白かった。
- ストレス理解についても深められたら更に良い。



<2C藤田 T～静電気の実験から～>

<主体的・対話的な学びの充実>

- 短時間で4つの実験体験は効果的！主体的な学び、対話的な学びがあった。
- 次時→まとめ発表会。振り返りにもなる。
- 予想外に早く考察できた。クラスの実態に応じた時間配分、展開を考える。



<深い学びについて>

主体的で対話的な深い学びの実現に向けた授業改善

	思考して 問い続ける		知識・技能を 習得する
	知識・技能を 活用する		自分の思いや考 えと結び付ける
	知識や技能を 概念化する		自分の考えを 形成する
	新たなものを 創り上げる		

<ゴールを明確に！>

- *何のために学ぶのかを大切にする。
- *たくさんの情報から選んでコンパクトに整理する力が必要。
- *問題から言葉の変換をしていく力をつける。ゴールから逆算していく思考力を。
- *日頃の道徳的価値を育てる。道徳との結びつきを大切に。